

令和3年度 更埴教育会 教育を語る会 講演会

演題

『教育の不易なるもの』



講師

元長野県教育委員会教育長

斉藤 金司 氏

著書：随想『学校の四季』
（『信濃教育』H28年5月号
～H29年3月号抜刷）

with コロナ真っ只中の現在。教育界も激動の波にさらされています。

今こそ教育について聞き、教育について学び、教育について語らうとき。

斉藤金司先生のお言葉から数々の学びが得られる貴重な機会です。

ぜひ、ご来場を！

《斉藤金司氏プロフィール》

松本市安曇（旧安曇村島々）生まれ。

昭和39年 静岡県立高校教員。

昭和47年 長野県立高校教員。

県内各地の高校に勤務し、県教育委員会事務局、明科高等学校長を経て、平成12年12月から平成14年10月まで長野県教育委員会教育長。

その後、松本大学松商短期大学・松本大学の教授を歴任。

平成17年4月から松本市教育委員会教育委員長、平成27年4月から教育長職務代理。

平成29年退任。